

元（武蔵野赤十字病院）、皿谷 健（杏林大学）

日本臨床微生物学会第 12 回 医師・臨床検査技師・薬剤師・看護師のための感染症学セミナー  
第 12 回のテーマ：典型症例の非典型的なプレゼンテーション

～解決への糸口を掴むためには？ 1,000 本ノック：症例から学ぶ～平成 26 年 8 月 24 日（日曜日）  
場所：東京大学医学部「鉄門講堂」

皿谷 健、*Mycoplasma pneumoniae* 及び *Chlamydia pneumoniae* の成人呼吸器疾患における持続感染の前視的調査研究 第 54 回日本呼吸器学会 2014 年 4 月 25 日 ミニシンポジウム

佐久間 翔、皿谷 健、第 111 回日本内科学会総会第 111 回 日本内科学会総会・講演会 サテライトシンポジウム「医学生・研修医の内科学サミット 2014」 発熱、関節痛を主訴とし慢性腎不全の二次性副甲状腺機能亢進症による片側性の異所性肺石灰化症を契機に診断された急性リンパ球性白血病の一例 2014 年 4 月 12 日

蘇原 慧伶、皿谷 健、他、膠原病患者の診断における Mechanic's hands の有用性の検討、第 54 回日本呼吸器学会 2014 年 4 月 27 日

中元 康雄、皿谷 健 他、FDG-PET/CT にて著明な多数の集積を認めた心サルコイドーシスの一例、第 211 回 日本呼吸器学会関東地方会 2014 年 9 月 20 日、埼玉

経過中に一時自然退縮し、診断に難渋した Diffuse large B cell Lymphoma の 1 例

多門 裕貴、辻本 直貴、布川 寛樹、平田 彩、大熊 康介、皿谷 健、石井 晴之、滝澤 始、第 609 回日本内科学会関東地方会 2014/10/11、日内会館、東京

著明な胸膜肥厚を呈し、胸膜原発の悪性リンパ腫（Diffuse large B cell lymphoma）と考えられた 1 例、

杏林大学第一内科 福田 のぞみ、皿谷 健、辻本 直貴、布川 寛樹、大熊 康介、近藤 晴彦、滝澤 始、第 609 回日本内科学会関東地方会 2014 年 12 月 13 日、日内会館、東京

肺癌に類似した画像を呈した肺アスペルギローシスの 1 例、杏林大学第一内科、野坂 岳志、皿谷 健、辻本 直貴、布川 寛樹、大熊 康介、石井 晴之、滝澤 始

2014 年 12 月 13 日、日内会館、東京

Respiratory viral infections in adult asthma exacerbation: one year survey at a Japanese university hospital for characterization of hospitalized or not hospitalized patient. Saraya T, Kurai D, Tsukagoshi H, Ishii H, Kimura H, Goto H, Takizawa H

ERS international congress 2014, Munich germany, 6-10 Sep, 2014.

#### H. 知的財産権の出願、登録状況

特記すべき事象なし

# サルコイドーシスの診断および 鑑別マーカーとしてのカテプシン S の意義

山口 悦郎

愛知医科大学呼吸器・アレルギー内科

**【要旨】** 研究要旨：以前我々が見出したサルコイドーシスの新規血清マーカーであるカテプシン S (CTSS) の、他の血清マーカーとの比較解析を行った。対象は健常者 89 名、サ症 107 名、間質性肺炎 26 名、塵肺 150 名、肺抗酸菌症 23 名である。健常者とサ症の識別に関して ROC 曲線の曲線下面積 (AUC) は、CTSS>ACE>sIL-2R>リゾチームの順で、CTSS が有意に高かった。サ症と間質性肺炎との鑑別に関しては、リゾチーム >ACE>CTSS>sIL-2R の順に AUC が高く、リゾチームは他の 3 マーカーより有意に高かった。サ症と塵肺の鑑別に関する AUC は、ゾチーム >sIL-2R>CTSS>ACE の順であったが、4 種のマーカー間に有意差を認めなかった。サ症と肺抗酸菌症との鑑別に関しては、CTSS>リゾチーム >ACE>sIL-2R の順に高く、CTSS、リゾチーム、ACE 間に有意差を認めなかったが、CTSS とリゾチームは sIL-2R より有意に AUC が高かった。サ症の診断と鑑別に際しては、CTSS を含めて種々の血清マーカーを使い分けることが有用である。

## 初めに

カテプシン S (CTSS) は我々がサルコイドーシス患者肺胞マクロファージの網羅的遺伝子発現研究から見出した血清マーカーである。これまでサルコイドーシス (以下サ症) の鑑別診断に関して高い感度を示し、ステロイド投与に関して ACE と異なった挙動を示すことを報告している。しかし我が国でサ症の診断基準に用いられている ACE や可溶性 IL-2 受容体 (sIL-2R)、健康保険未収載のリゾチームと比較した鑑別能については、未解析である。今回、健常対照者やサ症患者数を増やして CTSS 以外の血清マーカーを測定し、それらの鑑別能について検討を加えた。

## 方法

対象は健常者 89 名、サ症 107 名、間質性肺炎 26 名 (特発性肺線維症 14 名、非特異の間質性肺炎 12 名)、塵肺 150 名 (管理区分 2,3,4 各 50 名)、肺抗酸菌症 23 名 (肺結核 3 名、非結核性抗酸菌症 20 名) である。但し塵肺患者については、

ACE、sIL-2R、リゾチームを 25 名について測定した。

CTSS は Human Cathepsin S Duo Set (R & D)、ACE 活性は ACE Color (Fuji Rebio)、sIL-2R は Cell-free IL-2R (Kyowa Medix)、リゾチームは Human Lysozyme ELISA kit (AssayPro) をそれぞれ用いて測定した。ROC 曲線の曲線下面積 (AUC) は SPSS ver. 22 で計算し、AUC のマーカー間の比較は MedRoc を用いて検定した。

本研究は本学の倫理委員会の承認を得た (本学倫理申請書受付番号 260-3)。

## 結果

サ症患者の血清 CTSS は健常者と比較して高度に有意 ( $p=1.81 \times 10^{-31}$ ) に上昇していたが (図 1)、間質性肺炎 ( $p=1.2 \times 10^{-8}$ ) や塵肺 ( $p=5.7 \times 10^{-32}$ )、肺抗酸菌症 ( $p=1.7 \times 10^{-4}$ ) でも上昇していた。しかしサ症ではそれら 3 疾患より有意に (対間質性肺炎、 $p=9.6 \times 10^{-7}$ ; 対塵肺、 $p=1.1 \times 10^{-8}$ ; 対肺抗酸菌症、 $p=6.0 \times 10^{-6}$ ) 上昇していた。

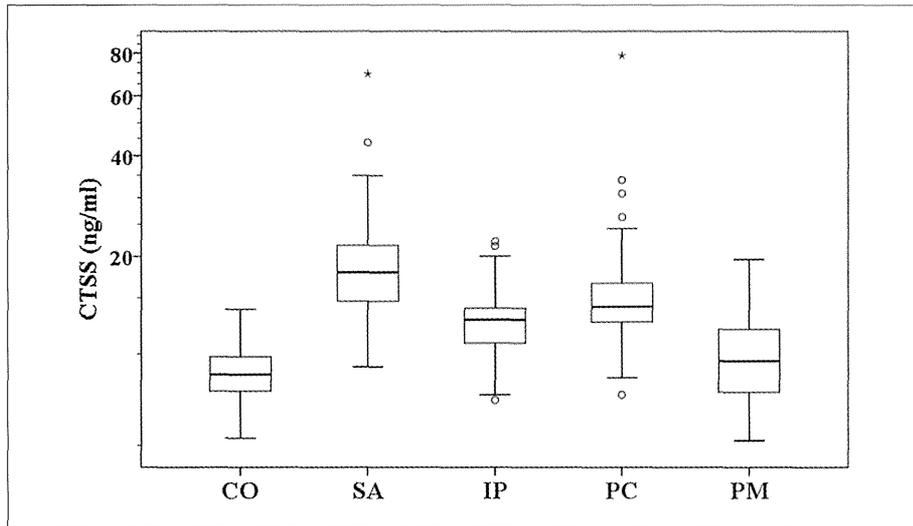


図 1 血清 CTSS 濃度

CO=control, SA=sarcoidosis,  
IP=interstitial pneumonia,  
PC=pneumoconiosis,  
PM=pulmonary mycobacteriosis

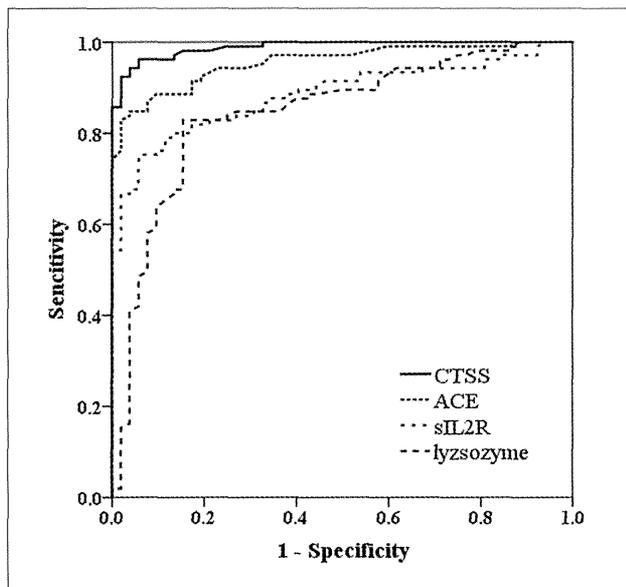


図 2 サルコイドーシスと健常者間の ROC 曲線

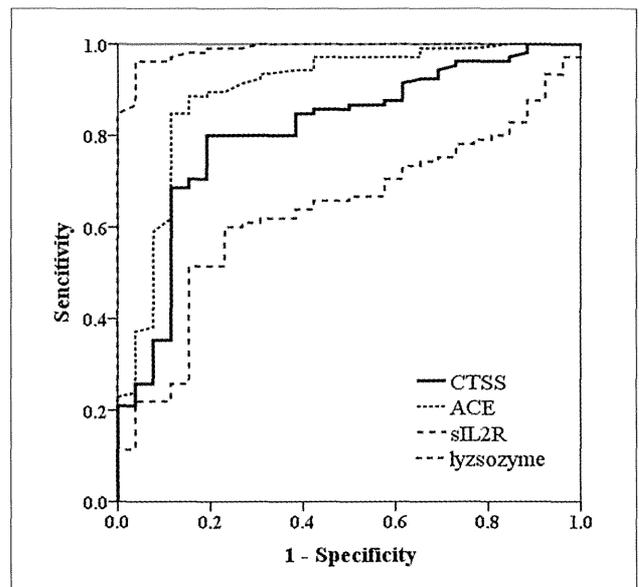


図 3 サルコイドーシスと間質性肺炎の鑑別のための ROC 曲線

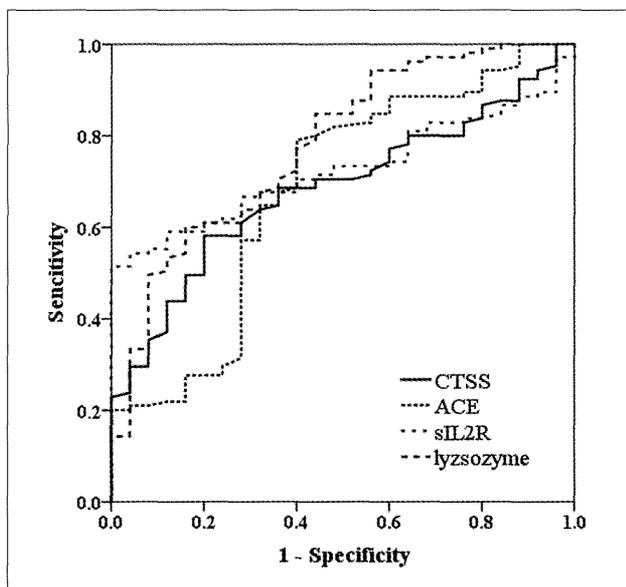


図 4 サルコイドーシスと塵肺の鑑別のための ROC 曲線

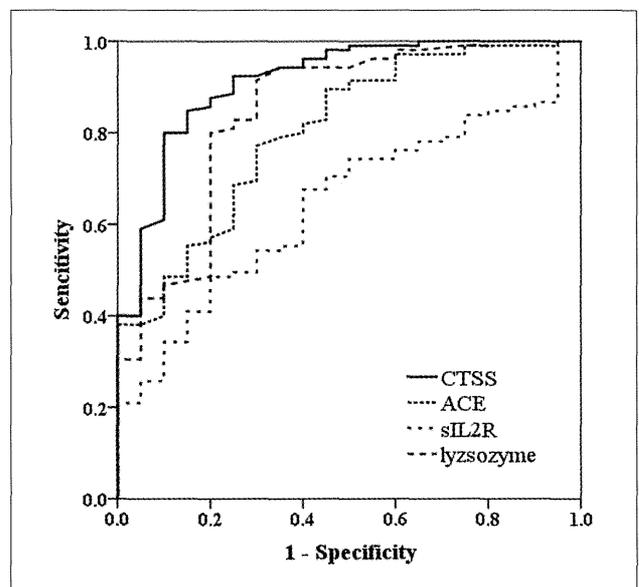


図 5 サルコイドーシスと肺抗酸菌症の鑑別のための ROC 曲線

表 1 2 群鑑別のための各血清マーカーの ROC 曲線下面積 (AUC) と帰無仮説 0.5 からの有意差の危険率

|  | Markers  | AUC  | SE   | p value | 95% CI |       |
|--|----------|------|------|---------|--------|-------|
|  |          |      |      |         | lower  | upper |
| Control vs Sarcoidosis                   | CTSS     | .989 | .006 | .000    | .978   | 1.000 |
|  | ACE      | .956 | .015 | .000    | .927   | .985  |
|  | sIL-2R   | .884 | .026 | .000    | .833   | .936  |
|  | lysozyme | .846 | .034 | .000    | .779   | .913  |
| Sarcoidosis vs Interstitial Pneumonia    | CTSS     | .809 | .047 | .000    | .716   | .902  |
|  | ACE      | .895 | .040 | .000    | .818   | .973  |
|  | sIL-2R   | .634 | .054 | .035    | .528   | .740  |
|  | lysozyme | .989 | .007 | .000    | .975   | 1.000 |
| Sarcoidosis vs Pneumoconiosis            | CTSS     | .684 | .051 | .004    | .585   | .784  |
|  | ACE      | .681 | .063 | .005    | .557   | .805  |
|  | sIL-2R   | .727 | .043 | .000    | .643   | .811  |
|  | lysozyme | .779 | .051 | .000    | .679   | .879  |
| Sarcoidosis vs Pulmonary Mycobacteriosis | CTSS     | .912 | .036 | .000    | .841   | .983  |
|  | ACE      | .804 | .051 | .000    | .704   | .905  |
|  | sIL-2R   | .645 | .058 | .040    | .531   | .759  |
|  | lysozyme | .847 | .052 | .000    | .746   | .949  |

表 2 2 群鑑別のための各血清マーカーの ROC 曲線下面積 (AUC) の差の検定危険率

|  | Markers | Lysozyme | sIL-2R | ACE    |
|--|---------|----------|--------|--------|
| Control vs Sarcoidosis                   | CTSS    | 0.0000   | 0.0001 | 0.0019 |
|  | ACE     | 0.0058   | 0.0917 |        |
|  | sIL-2R  | 0.0547   |        |        |
| Sarcoidosis vs Interstitial Pneumonia    | CTSS    | 0.0010   | 0.0086 | 0.1800 |
|  | ACE     | 0.0033   | 0.0011 |        |
|  | sIL-2R  | 0.0000   |        |        |
| Sarcoidosis vs Pneumoconiosis            | CTSS    | 0.1142   | 0.2462 | 0.2213 |
|  | ACE     | 0.0871   | 0.0884 |        |
|  | sIL-2R  | 0.2642   |        |        |
| Sarcoidosis vs Pulmonary Mycobacteriosis | CTSS    | 0.4756   | 0.0033 | 0.2608 |
|  | ACE     | 0.3469   | 0.1044 |        |
|  | sIL-2R  | 0.0000   |        |        |

健常者とサ症の識別に関して ROC 曲線の曲線下面積 (AUC) は、CTSS>ACE>sIL-2R> リゾチームと CTSS がもっとも高かった (表 1)。また CTSS では他の 3 マーカーより有意に高かった (表 2)。健常者の CTSS の 95 パーセンタイル値 (11.7 ng/ml) を閾値とした際、サルコイドーシスの診断についての感度は 92%、特異度は 97% であった。同様に ACE では 9.5 U/ml を閾値とした際に、感度 89%、特異度 90% であった。また sIL-2R では閾値 304 U/ml で感度 82%、特異度 83% であった。リゾチームでは閾値 1.7 ng/ml で感度、特異度ともに 83% であった。したがって CTSS がもっとも良好な感度と特異度を示した。

サ症と間質性肺炎との鑑別に関しては、AUC はリゾチーム >ACE>CTSS>sIL-2R の順に高く (図 3、表 1)、リゾチームは他の 3 マーカーより有意に高かった (表 2)。

サ症と塵肺の鑑別に関しては、AUC はリゾチーム >sIL-2R>CTSS>ACE の順に高かったが (図 4、表 1)、4 種のマーカー間に有意差を認めなかった (表 2)。

サ症と肺抗酸菌症との鑑別に関しては、AUC は CTSS>リゾチーム>ACE>sIL-2R の順に高く (図 5、表 1)、CTSS、リゾチーム、ACE 間に有意差を認めなかったが、CTSS とリゾチームは sIL-2R より有意に高かった (表 2)。

## 考察

一般に胸部画像所見からサ症以外に疑わしい疾患があえて存在しない時には、生検によらずとも診断の有力な傍証があれば臨床診断ができる。CTSS の高い感度はその目的に合致すると思われる。すなわち標準値より高値であればサ症を示唆し、低値であれば他疾患を真剣に考える必用が生じる。

一方臨床上鑑別が必要となる疾患との識別の点では、やや注意が必要である。とりわけ間質性肺炎についてはリゾチームの AUC より劣後するため、リゾチーム値を参考にすることが臨床的により妥当である。しかし塵肺や肺抗酸菌症についてはリゾチームや ACE と同等である。以上より

総合的に CTSS は臨床的有用性の高い新たな診断マーカーであると言える。

## 結論

サ症の診断と鑑別に際しては、CTSS を含めて種々の血清マーカーを使い分けることが有用である。

研究成果の刊行に  
関する一覧表

# 研究成果の刊行に関する一覧表

## 書籍

| 著者名                    | 論文タイトル名   | 書籍全体の編集者名                         | 書籍名  | 出版地 | 出版年  | ページ     |
|------------------------|---|-----------------------------------|--|-----|------|---------|
| 本間 栄                   | 特発性肺線維症   | 山口 徹,<br>北原光夫<br>監修               | 2014 今日の治療指針                                   | 東京  | 2014 | 313-314 |
| 本間 栄<br>(分担)           | ANCA 関連血管炎の<br>診療ガイドライン<br>(2014 年改訂版)  | 尾崎承一,<br>榎野博史 編                   | 厚生労働省<br>難治性疾患克服研究事業<br>難治性血管炎に関する調査研究班        |     | 2014 |         |
| 石田文昭,<br>本間 栄<br>(分担)  | 呼吸器疾患<br>(慢性閉塞性疾患、<br>運動誘発性喘息)  |                                   | 健康運動指導士養成講習会テキスト<br>(公益財団法人 健康・体力づくり<br>事業財団)  | 東京  | 2014 | 131-136 |
| 杉野圭史,<br>本間 栄<br>(分担)  | 検査手順と<br>診断フローチャート  | 久保恵嗣,<br>藤田次郎 編                   | 間質性肺疾患診療マニュアル<br>改訂第 2 版                       | 東京  | 2014 | 46-50   |
| 本間 栄<br>(分担)           | Acetylcysteine 吸入療法   | 久保恵嗣,<br>藤田次郎 編                   | 間質性肺疾患診療マニュアル<br>改訂第 2 版                       | 東京  | 2014 | 184-189 |
| 坂本 晋,<br>本間 栄<br>(分担)  | 特発性間質性肺炎診断と<br>治療の手引き<br>改訂第 2 版  | 門脇 孝,<br>小室一成,<br>宮地良樹<br>監修      | 診療ガイドライン UP-TO-DATE                            | 東京  | 2014 | 97-104  |
| 坂本 晋,<br>本間 栄<br>(分担)  | 特発性間質性肺炎  | 弦間昭彦 編                            | 呼吸器疾患診療最新ガイドライン                                | 東京  | 2014 | 118-124 |
| 佐藤敬太,<br>本間 栄<br>(分担)  | 多発性筋炎 / 皮膚筋炎  | 杉山幸比古<br>編                        | 全身性疾患の肺病変                                      | 大阪  | 2014 | 25-33   |
| 坂本 晋,<br>本間 栄<br>(分担)  | ロバの肺病変<br>—高齢のロバに高頻度に認めら<br>れる肺病変は？   | 塩谷隆信,<br>千原孝司,<br>桑平一郎,<br>小林弘祐 編 | 呼吸のトリビア  | 東京  | 2014 | 119-123 |
| 高橋弘毅                   | 間質性肺疾患の診断・検査<br>—画像と病理がわかる：E. 疾患<br>マーカー・特殊検査の手順と解<br>釈：1b. 疾患マーカー：サーファ<br>クタント蛋白質 (SP-A, SP-D) | 久保恵嗣,<br>藤田次郎                     | 間質性肺疾患診療マニュアル<br>改訂第 2 版                       | 東京  | 2014 | 146-148 |
| 高橋弘毅,<br>千葉弘文,<br>大塚満雄 | 総論<br>治療 1. 生活習慣と薬物療法   | 東田有智                              | インフォームドコンセントのための<br>図説シリーズ<br>びまん性肺疾患と特発性間質性肺炎 | 大阪  | 2014 | 42-47   |
| 稲瀬直彦                   | 好酸球性肺炎  | 山口 徹,<br>北原光夫                     | 今日の治療指針 2014 年版                                | 東京  | 2014 | 314-315 |
| 稲瀬直彦                   | 過敏性肺炎   | 久保恵嗣,<br>藤田次郎                     | 間質性肺疾患診療マニュアル<br>改訂第 2 版                       | 東京  | 2014 | 364-369 |
| 稲瀬直彦                   | 過敏性肺炎   | 弦間昭彦                              | 呼吸器疾患 最新ガイドライン                                 | 東京  | 2014 | 205-208 |
| 古家 正,<br>稲瀬直彦          | 呼吸困難  | 井上智子,<br>稲瀬直彦                     | 緊急度・重症度からみた<br>症状別看護過程 + 病態関連図<br>第 2 版        | 東京  | 2014 | 496-502 |

| 著者名             | 論文タイトル名   | 書籍全体の<br>編集者名                    | 書籍名  | 出版地 | 出版年  | ページ         |
|-----------------|---|----------------------------------|--|-----|------|-------------|
| 宮崎泰成,<br>稲瀬直彦   | 過敏性肺炎における<br>ステロイド療法の実践   | 東田有智                             | 呼吸器疾患のステロイド療法<br>実践マニュアル                       | 東京  | 2014 | 140-<br>145 |
| 坂東政司            | 特発性間質性肺炎 (IIPs) 各疾患<br>の診断と治療 2) 特発性肺線維<br>症 (IPF) の急性増悪                  | 東田有智                             | インフォームドコンセントのための<br>図説シリーズ<br>びまん性肺疾患と特発性間質性肺炎 | 大阪  | 2014 | 84-<br>91   |
| 坂東政司            | B ステロイド療法の実践  | 東田有智                             | 呼吸器疾患のステロイド療法実践<br>マニュアル                       | 東京  | 2014 | 112-<br>121 |
| 酒井文和            | IPF の ATS/ERS/JSR/ALAT<br>statement と日本における診断                             | 永井厚志,<br>巽 浩一郎,<br>桑野和喜,<br>高橋和久 | 呼吸器 annual review 2014                         | 東京  | 2014 | 189-<br>195 |
| 酒井文和            | 画像診断  | 二木芳人,<br>吉田耕一郎                   | レジデントのために感染症の<br>診断と治療                         | 東京  | 2014 | 148-<br>155 |
| 酒井文和            | 画像で見る呼吸器感染症   | 松島敏春,<br>藤田次郎                    | 画像で見る呼吸器感染症                                    | 東京  | 2014 |             |
| 須田隆文,<br>千田金吾   | Ⅲ. 診断の進歩 4. IIPs と<br>UCTD, Lung-dominant CTD,<br>Autoimmune-featured ILD | 永井厚志,<br>桑野和喜,<br>高橋和久,<br>巽浩一郎  | Annual Review 呼吸器 2014                         | 東京  | 2014 | 151-<br>158 |
| 中村祐太郎,<br>須田隆文  | 特発性間質性肺炎 (IIPs) 各疾患<br>の診断と治療 8) リンパ球性間<br>質性肺炎 (LIP) と IPPFE             | 東田有智                             | インフォームドコンセントのための<br>図説シリーズ<br>びまん性肺疾患と特発性間質性肺炎 | 大阪  | 2014 | 128-<br>133 |
| 穂積宏尚,<br>須田隆文   | IV -A 特発性間質性肺炎 4 非<br>特異性間質性肺炎 (NSIP) の急<br>性増悪                           | 久保恵嗣,<br>藤田次郎                    | 間質性肺疾患 診療マニュアル<br>改訂第 2 版                      | 東京  | 2014 | 241-<br>244 |
| 新井 徹,<br>井上義一   | リンパ脈管筋腫症  |                                  | 今日の診療のために ガイドライン<br>外来診療                       |     | 2014 |             |
| 井上義一            | 欧米のガイドライン紹介   | 久保恵嗣,<br>藤田次郎                    | 間質性肺疾患 診療マニュアル<br>改訂第 2 版                      | 東京  | 2014 | 19-<br>24   |
| 佐々木由美子,<br>井上義一 | 慢性好酸球性肺炎  | 久保恵嗣,<br>藤田次郎                    | 間質性肺疾患 診療マニュアル<br>改訂第 2 版                      | 東京  | 2014 | 372-<br>375 |
| 井上義一            | 2. 診断 1) 臨床像 (問診, 身体<br>所見, 一般検査, 特殊検査)                                   | 東田有智                             | インフォームドコンセントのための<br>図説シリーズ<br>びまん性肺疾患と特発性間質性肺炎 | 大阪  | 2014 | 18-<br>29   |
| 井上義一            | リンパ脈管筋腫症  | 弦間昭彦 編                           | 呼吸器疾患診療最新ガイドライン                                | 東京  | 2014 | 379-<br>384 |
| 井上義一            | ランゲルハンス細胞組織球症<br>up to date   | 永井厚志,<br>桑野和喜,<br>高橋和久,<br>巽浩一郎  | Annual Review 呼吸器 2014                         | 東京  | 2014 | 112-<br>118 |
| 井上義一            | Ⅲ 特発性間質性肺炎<br>A 作用機序, 適応と注意点  | 東田有智                             | 呼吸器疾患のステロイド療法<br>実践マニュアル                       | 東京  | 2014 | 85-<br>90   |
| 井上義一            | 肺胞蛋白症   | 山口 徹,<br>北原光夫                    | 今日の治療指針 2014 年版                                | 東京  | 2014 | 319         |
| 井上義一            | 肺胞蛋白症   | 山口 徹,<br>北原光夫                    | 今日の治療指針<br>2014 年版ポケット版                        | 東京  | 2014 | 319         |
| 西岡安彦            | 細胞・分子生物   | 橋本 修                             | 呼吸器疾患文献レビュー<br>2014 ~ 2015                     | 東京  | 2014 | 12-<br>25   |

| 著者名                     | 論文タイトル名  | 書籍全体の編集者名 | 書籍名                      | 出版地 | 出版年  | ページ     |
|-------------------------|--|-----------|--------------------------|-----|------|---------|
| 岸 潤,<br>河野 弘,<br>西岡安彦   | 強皮症  | 杉山幸比古     | 最新医学・別冊 新しい診断と治療のABC     | 大阪  | 2014 | 34-41   |
| 石井 寛,<br>渡辺憲太郎          | 全身性疾患の肺病変<br>第5章 他臓器疾患の肺病変<br>炎症性疾患の肺病変          | 杉山幸比古     | 最新医学・別冊 新しい診断と治療のABC     | 大阪  | 2014 | 177-182 |
| 近藤康博,<br>長谷川隆一,<br>谷口博之 | V. 各種の呼吸不全に対する人工呼吸と集中ケア 28 喘息患者の急性増悪時の人工呼吸と集中ケア  | 岡元和文      | 人工呼吸器と集中ケア Q&A           | 東京  | 2014 | 188     |
| 谷口博之                    | 特発性間質性肺炎 (IIPs)<br>各疾患の診断と治療<br>1) 特発性肺線維症 (IPF) | 東田有智      | びまん性肺疾患と特発性間質性肺炎         | 東京  | 2014 | 68-83   |
| 谷口博之,<br>片岡健介           | ステロイド療法の実践 IPF におけるステロイド療法の位置づけ                  | 東田有智      | 呼吸器疾患のステロイド療法<br>実践マニュアル | 東京  | 2014 | 91-102  |

## 研究成果の刊行に関する一覧表

## 雑誌

| 発表者氏名  | 論文タイトル名   | 発表誌名                                 | 巻号  | ページ                      | 出版年  |
|--|---|--------------------------------------|-----|--------------------------|------|
| Sugino K, Ishida F, Kikuchi N, Hirota N, Sano G, Sato K, Isobe K, Sakamoto S, Takai Y, Homma S   | Comparison of clinical characteristics and prognostic factors of combined pulmonary fibrosis and emphysema versus idiopathic pulmonary fibrosis alone | Respirology                          | 19  | 239-245                  | 2014 |
| Koyama K, Sano G, Hata Y, Shiraga N, Ota H, Sugino K, Isobe K, Sakamoto S, Takai Y, Koezuka S, Makino T, Otsuka H, Sato F, Sasamoto S, Iyoda A, Kurosaki A, Homma S                        | An anomalous unilateral single pulmonary vein associated with a bone morphogenetic protein receptor II gene mutation                                  | Intern Med                           | 53  | 461-466                  | 2014 |
| Isobe K, Hata Y, Tochigi N, Kaburaki K, Kobayashi H, Makino T, Otsuka H, Sato F, Ishida F, Kikuchi N, Hirota N, Sato K, Sano G, Sugino K, Sakamoto S, Takai Y, Shibuya K, Iyoda A, Homma S | Clinical significance of BIM deletion polymorphism in non-small-cell lung cancer with epidermal growth factor receptor mutation                       | J Thorac Oncol                       | 9   | 483-487                  | 2014 |
| Yamamoto A, Sugino K, Kobayashi M, Hata Y, Homma S   | Efficacy of nasal continuous positive airway pressure in tracheobronchomalacia  | J Med Soc Toho                       | 61  | 166-171                  | 2014 |
| Muramatsu Y, Isobe K, Sugino K, Kinoshita A, Wada T, Sakamoto S, Takai Y, Sato F, Hata Y, Wakayama M, Sibuya K, Uekusa T, Iyoda A, Homma S   | Malignant pleural mesothelioma mimicking the intrapulmonary growth pattern of epithelioid hemangioendothelioma  | Pathol Intern (Letter to the Editor) | 64  | 358-360                  | 2014 |
| Hirota N, Ito T, Miyazaki S, Ebina M, Homma S  | Gene expression profiling of lung myofibroblasts reveals the anti-fibrotic effects of cyclosporine  | Tohoku J Exp Med                     | 233 | 283-293                  | 2014 |
| Takai Y, Yamashiro Y, Satoh D, Fukunaga S, Kobayashi M, Sugiyama K, Hatakeyama Y, Moriyama K, Komagamine M, Takasaki Y, Homma S  | Association of obstructive sleep apnea syndrome with trapezius muscle hardness  | J Med Soc Toho                       | 61  | 224-231                  | 2014 |
| Hasegawa Y, Takahashi M, Arika S, Asakawa D, Tajiri M, Wada Y, Yamaguchi Y, Nishitani C, Takamiya R, Saito A, Uehara Y, Hashimoto J, Kurimura Y, Takahashi H, Kuroki Y                     | Surfactant protein D suppresses lung cancer progression by downregulation of epidermal growth factor signaling  | Oncogene                             |     | doi: 10.1038/onc.2014.20 | 2014 |
| Natsuzaka M, Chiba H, Kuronuma K, Otsuka M, Kudo K, Mori M, Bando M, Sugiyama Y, Takahashi H   | Epidemiologic survey of Japanese patients with idiopathic pulmonary fibrosis and investigation of ethnic differences                                  | Am J Respir Crit Care Med            | 190 | 773-779                  | 2014 |

| 発表者氏名  | 論文タイトル名  | 発表誌名                              | 巻号                            | ページ       | 出版年  |
|--|--|-----------------------------------|-------------------------------|-----------|------|
| Nishikiori N, Chiba H, Ariki S, Kuronuma K, Otsuka M, Shiratori M, Ikeda K, Watanabe A, Kuroki Y, Takahashi H  | Distinct compartmentalization of SP-A and SP-D in the vasculature and lungs of patients with idiopathic pulmonary fibrosis                                     | BMC Pulm Med                      | doi: 10.1186/1471-2466-14-196 |           | 2014 |
| Yoshida T, Nagai K, Inomata T, Ito Y, Betsuyaku T, Nishimura M   | Relationship between neutrophil influx and oxidative stress in alveolar space in lipopolysaccharide-induced lung injury  | Respir Physiol Neurobiol          | 191                           | 75-83     | 2014 |
| Konno S, Hizawa N, Makita H, Shimizu K, Sakamoto T, Kokubu F, Saito T, Endo T, Ninomiya H, Iijima H, Kaneko N, Ito YM, Nishimura M   | J-Blossom Study Group: The effects of a Gly16Arg ADRB2 polymorphism on responses to salmeterol or montelukast in Japanese patients with mild persistent asthma | Pharmacogenet Genomics            | 24                            | 246-255   | 2014 |
| Taniguchi N, Konno S, Isada A, Hattori T, Kimura H, Shimizu K, Maeda Y, Makita H, Hizawa N, Nishimura M  | Association of the CAT-262C>T polymorphism with asthma in smokers and the nonemphysematous phenotype of chronic obstructive pulmonary disease                  | Ann Allergy Asthma Immunol        | 113                           | 31-36     | 2014 |
| Furusawa H, Miyazaki Y, Sonoda S, Tsuchiya K, Yaguchi T, Kamei K, Inase N  | Penicilliosis marneffei complicated with interstitial pneumonia  | Intern Med                        | 53                            | 321-323   | 2014 |
| Komazaki Y, Miyazaki Y, Fujie T, Sakashita H, Tsuchiya K, Tamaoka M, Sumi Y, Maruyama Y, Nanki T, Inase N  | Serodiagnosis of Mycobacterium avium complex pulmonary disease in rheumatoid arthritis   | Respiration                       | 87                            | 129-135   | 2014 |
| Ono H, Motoi N, Nagano H, Miyazaki E, Ushijima M, Matsuura M, Okumura S, Nishio M, Hirose T, Inase N, Ishikawa Y   | Long noncoding RNA HOTAIR is relevant to cellular proliferation, invasiveness, and clinical relapse in small-cell lung cancer                                  | Cancer Med                        | doi: 10.1002/cam4.220         |           | 2014 |
| Iijima Y, Furusawa H, Tateishi T, Fujie T, Tamaoka M, Sakashita H, Miyazaki Y, Sumi Y, Hosono Y, Nakashima R, Minori T, Inase N  | Amyopathic dermatomyositis complicated with eosinophilic pneumonia   | Intern Med                        | 53                            | 1539-1544 | 2014 |
| Azuma A  | Macrolide antibiotics: 25 years of use and the future treatment of common diseases.  | Community Acquir Infect           | 1                             | 6-10      | 2014 |
| Judson M.A, Costabel U, Drent M, Wells A, Maier L, Koth L, Shigemitsu H, Culver DA, Gelfand J, Valeyre D, Sweiss N, Crouser E, Morgenthau AS, Lower EE, Azuma A, Ishihara M, Morimoto S, Tetsuo Yamaguchi T, Shijubo N, Grutters JC, Rosenbach M, Li HP, Rottoli P, Inoue Y, Prasse A, Baughman RP, Organ Assessment Instrument Investigators TW | The WASOG Sarcoidosis Organ Assessment Instrument: An update of a previous clinical tool   | Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis | 31                            | 19-27     | 2014 |

| 発表者氏名   | 論文タイトル名  | 発表誌名  | 巻号                            | ページ       | 出版年  |
|---|--|---|-------------------------------|-----------|------|
| Ogura T, Taniguchi H, Azuma A, Inoue Y, Kondoh Y, Hasegawa Y, Bando M, Abe S, Mochizuki Y, Chida K, Klüglich M, Fujimoto T, Okazaki K, Tadayasu Y, Sakamoto W, Sugiyama Y   | Safety and pharmacokinetics of nintedanib and pirfenidone in idiopathic pulmonary fibrosis.  | Eur Respir J                                    | Epub ahead of print           |           | 2014 |
| Miura Y, Saito T, Fujita K, Tsunoda Y, Tanaka T, Takoi H, Yatagai Y, Rin S, Sekine A, Hayashihara K, Nei T, Azuma A   | Clinical experience with pirfenidone in five patients with scleroderma-related interstitial lung disease   | Sarcoidosis Vasculitis and Diffuse Lung Disease | 31                            | 235-238   | 2014 |
| Inomata M, Ikushima S, Awano N, Kondoh K, Satake K, Masuo M, Kusunoki Y, Moriya A, Kamiya H, Ando T, Yanagawa N, Kumasaka T, Ogura T, Sakai F, Azuma A, Gemma A, Takemura T   | An autopsy study of combined pulmonary fibrosis and emphysema: correlations among clinical, radiological, and pathological features                                      | BMC Pulm Med                                    | doi: 10.1186/1471-2466-14-104 |           | 2014 |
| Kamio K, Azuma A, Ohta K, Sugiyama Y, Nukiwa T, Kudoh S, Mizushima T  | Double-blind controlled trial of lecithinized superoxide dismutase in patients with idiopathic interstitial pneumonia – short term evaluation of safety and tolerability | BMC Pulm Med                                    | doi: 10.1186/1471-2466-14-86  |           | 2014 |
| Kurotsu S, Tanaka KI, Niino T, Asano T, Sugizaki T, Azuma A, Suzuki H, Mizushima T  | Ameliorative effect of mepenzolate bromide against pulmonary fibrosis  | J Pharmacol Exp Ther                            | 350                           | 79-88     | 2014 |
| Richeldi L, du Bois RM, Raghu G, Azuma A, Brown KK, Costabel U, Cottin V, Flaherty KR, Hansell DM, Inoue Y, Kim DS, Kolb M, Nicholson AG, Noble PW, Selman M, Taniguchi H, Brun M, Le Maulf F, Girard M, Stowasser S, Schlenker-Herzeg R, Disse B, Collard HR; INPULSISTrial Investigators. | Efficacy of Nintedanib in Idiopathic Pulmonary Fibrosis: The INPULSIST <sup>TM</sup> Trials  | New Engl J Med                                  | 370                           | 2071-2082 | 2014 |
| Inomata M, Kamio K, Azuma A, Matsuda K, Miura Y, Hayashi H, Nei T, Fujita K, Saito Y, Gemma A   | Pirfenidone inhibits fibrocyte accumulation in the lungs in bleomycin-induced murine pulmonary fibrosis  | Respir Res                                      | doi: 10.1186/1465-9921-15-16  |           | 2014 |
| Kurosaki F, Bando M, Nakayama M, Mato N, Nakaya T, Yamasawa H, Yoshimoro T, Fukushima N, Sugiyama Y   | Clinical features of pulmonary aspergillosis associated with interstitial pneumonia  | Intern Med                                      | 53                            | 1299-1306 | 2014 |
| Kurosaki F, Bando M, Nakayama M, Mato N, Yamasawa H, Higashizawa T, Tanaka A, Sugiyama Y  | A patient with sarcoidosis who developed heterochronic involvements in different organs from initial organs during 7 years   | Respir Investig                                 | 52                            | 71-74     | 2014 |

| 発表者氏名   | 論文タイトル名  | 発表誌名                                      | 巻号  | ページ                    | 出版年  |
|---|--|---|-----|------------------------|------|
| Kurosaki F, Bando M, Shinoda S, Nakayama M, Mato N, Yamasawa H, Kawai A, Shinozaki T, Yoshimoto T, Fukushima N, Tetsuka K, Endo S, Sugiyama Y.  | A Case of Solitary Fibrous Tumor of the Pleura That Increased in Size After Resection of Renal Cell Carcinoma  | JJSRE                                     | 36  | 153-157                | 2014 |
| Natsuizaka M, Chiba H, Kuronuma K, Otsuka M, Kudo K, Mori M, Bando M, Sugiyama Y, Takahashi H   | Epidemiological survey of Japanese patients with idiopathic pulmonary fibrosis and investigation of ethnic differences   | Am J Respir Crit Care Med                 | 190 | 773-779                | 2014 |
| Sawahata M, Sugiyama Y, Nakamura Y, Nakayama M, Mato N, Yamasawa H, Bando M   | Age-related differences in chest radiographic staging of sarcoidosis in Japan  | Eur Respir J                              | 43  | 1810-1812              | 2014 |
| Takahashi H, Matsubara S, Saito K, Bando M.   | Good obstetric outcome after embolisation of pulmonary arteriovenous malformation in hereditary haemorrhagic telangiectasia: planned pregnancy may also be important in this condition | Aust N Z J Obstet Gynaecol                |     | doi: 10.1111/ajo.12154 | 2014 |
| Bando M, Nakayama M, Takahashi M, Hosono T, Mato N, Yamasawa H, Okamoto H, Sugiyama Y   | Serum Torque Teno Virus DNA Titer in Idiopathic Pulmonary Fibrosis Patients with Acute Respiratory Worsening   | Intern Med                                |     | in press               | 2014 |
| Bando M, Sugiyama Y, Azuma A, Ebina M, Taniguchi H, Taguchi Y, Takahashi H, Homma S, Nukiwa T, Kudoh S, The Diffuse Lung Diseases Research Group by a Ministry of Health, Labour and Welfare Grant-in-Aid for Scientific Research | A prospective survey of idiopathic interstitial pneumonias in a web registry in Japan  | Respir Investig                           |     | in press               | 2014 |
| Ogura T, Taniguchi H, Azuma A, Inoue Y, Kondoh Y, Hasegawa Y, Bando M, Abe S, Mochizuki Y, Chida K, Klüglich M, Fujimoto T, Okazaki K, Tadayasu Y, Sakamoto W, Sugiyama Y   | Safety and pharmacokinetics of nintedanib and pirfenidone in idiopathic pulmonary fibrosis.  | Eur Respir J                              |     | Epub ahead of print    | 2014 |
| Endo S, Bando M   | Invited commentary: Videotheracoscopy-assisted surgical lung biopsy for interstitial lung diseases   | Gen Thorac Cardiovasc Surg                | 62  | 331-333                | 2014 |
| 坂東政司  | 間質性肺炎に合併した肺癌の現状と治療戦略シンポジウム6 薬物療法、術後急性増悪回避で戦略検討 初回化学療法、CBDCA+PTX 療法に標準の可能性  | Japan Medicine monthly 号外                 | 3   | 1                      | 2014 |
| 坂東政司, 山内浩義, 杉山幸比古   | 臨床調査票を用いた重症度Ⅳの特発性肺線維症に対するピルフェニドン使用例に関する臨床的検討   | 難治性疾患克服研究事業<br>びまん性肺疾患に関する調査研究平成25年度研究報告書 |     | 47-52                  | 2014 |

| 発表者氏名   | 論文タイトル名  | 発表誌名  | 巻号  | ページ                             | 出版年  |
|---|--|---|-----|---------------------------------|------|
| 坂東政司, 杉山幸比古   | びまん性肺疾患に関するプロスペクティブ調査研究 (Web 登録)   | 難治性疾患克服研究事業<br>びまん性肺疾患に関する調査研究平成 25 年度研究報告書 |     | 59-64                           | 2014 |
| Washino S, Ando H, Ushijima K, Hosohata K, Kumazaki M, Mato N, Sugiyama Y, Kobayashi Y, Fujimura A, Morita T  | Temsirolimus induces surfactant lipid accumulation and lung inflammation in mice   | Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol          | 306 | L1117-L1128                     | 2014 |
| 山内浩義, 坂東政司, 小松 有, 開 陽子, 間藤尚子, 中屋孝清, 山沢英明, 杉山幸比古   | 自然冷媒ヒートポンプ給湯器の貯湯タンクユニット使用中に発症した hot tub lung の 1 例   | 日呼吸誌  | 3   | 525-529                         | 2014 |
| 坂東政司  | 眼で見る薬剤性肺障害   | 最新医学・別冊<br>新しい診断と治療の ABC                    | 85  |                                 | 2014 |
| 坂東政司  | 特発性肺線維症の予後を規定するバイオマーカー   | 呼吸器内科                                       | 26  | 202-208                         | 2014 |
| Yoshizawa K, Mukai HY, Miyazawa M, Miyao M, Ogawa Y, Ohyashiki K, Katoh T, Kusumoto M, Gemma A, Sakai F, Sugiyama Y, Hatake K, Fukuda Y, Kudoh S                            | Bortezomib therapy-related lung disease in Japanese patients with multiple myeloma: Incidence, mortality, and clinical characterization  | Cancer Sci                                  | 105 | 195-201                         | 2014 |
| Fujimoto K, Hara M, Tomiyama N, Kusumoto M, Sakai F, Fujii Y  | Proposal for a new mediastinal compartment classification of transverse plane images according to the Japanese Association for Research on the Thymus (JART) General Rules for the Study of Mediastinal Tumors | Oncology Report                             | 31  | 565-572                         | 2014 |
| Tanaka J, Moriyama H, Terada M, Takada T, Suzuki E, Narita I, Kawabata Y, Yamaguchi T, Hebisawa A, Sakai F, Arakawa H   | An observational study of giant cell interstitial pneumonia and lung fibrosis in hard metal lung disease   | BMJ Open                                    |     | doi:10.1136/bmjopen-2013-004407 | 2014 |
| Hasegawa M, Sakai F, Arimura K, Katsura H, Koh E, Sekine Y, Hiroshima K   | EGFR mutation of adenocarcinoma in congenital cystic adenomatoid malformation/congenital pulmonary airway malformation: a case report  | Jpn J Clin Oncol                            | 44  | 278-281                         | 2014 |
| Enomoto Y, Takemura T, Hagiwara E, Iwasawa T, Okudela K, Yanagawa N, Baba T, Sakai F, Fukuda Y, Nagaoka S, Ogura T  | Features of usual interstitial pneumonia in primary Sjogren syndrome from idiopathic pulmonary fibrosis  | Respir Investig                             | 52  | 278-281                         | 2014 |
| Inomata M, Ikushima S, Awano N, Kondoh K, Satake K, Masuo M, Kusunoki Y, Moriya A, Kamiya H, Ando T, Yanagawa N, Kumasaka T, Ogura T, Sakai F, Azuma A, Gemma A, Takemura T | An autopsy study of combined pulmonary fibrosis and emphysema: correlations among clinical, radiological, and pathological features  | BMC Pulm Med                                |     | doi:10.1186/1471-2466-14-104    | 2014 |

| 発表者氏名  | 論文タイトル名  | 発表誌名                                    | 巻号                  | ページ       | 出版年  |
|--|--|---|---------------------|-----------|------|
| Johkoh T, Sakai F, Kusumoto M, Arakawa H, Harada R, Ueda M, Kudoh S, Fukuoka M   | Association between baseline pulmonary status and interstitial lung disease in patients with non-small-cell lung cancer treated with erlotinib--a cohort study             | Clin Lung Cancer                        | 15                  | 448-454   | 2014 |
| Satoh T, Gemma A, Kudoh S, Sakai F, Yamaguchi K, Watanabe T, Ishiguro M, Inoshiri S, Izawa M, Sugihara K, Sakata Y   | Incidence and clinical features of drug-induced lung injury in patients with advanced colorectal cancer receiving cetuximab: results of a prospective multicenter registry | Jpn J Clin Oncol                        | 44                  | 1032-1039 | 2014 |
| Gemma A, Kudoh S, Ando M, Ohe Y, Nakagawa K, Johkoh T, Yamazaki N, Arakawa H, Inoue Y, Ebina M, Kusumoto M, Kuwano K, Sakai F, Taniguchi H, Fukuda Y, Seki A, Ishii T, Fukuoka M | Final safety and efficacy of erlotinib in the phase 4 POLARSTAR surveillance study of 10 708 Japanese patients with non-small-cell lung cancer                             | Cancer Sci                              | 105                 | 1584-1590 | 2014 |
| Oda T, Ogura T, Kitamura H, Hagiwara E, Baba T, Enomoto Y, Iwasawa T, Okudela K, Takemura T, Sakai F, Hasegawa Y   | Distinct characteristics of pleuroparenchymal fibroelastosis with usual interstitial pneumonia compared with idiopathic pulmonary fibrosis.                                | Chest                                   | 146                 | 1248-1255 | 2014 |
| Hasegawa M, Sakai F, Sato A, Tsubomizu S, Arimura K, Katsura H, Koh E, Sekine Y, Wu D, Hiroshima K   | FISH Analysis of Intrapulmonary Malignant Mesothelioma without a Clinically Detectable Primary Pleural Lesion: An Autopsy Case   | Jpn J Clin Oncol                        | 44                  | 1239-1242 | 2014 |
| Fujimoto N, Kato K, Usami I, Sakai F, Tokuyama T, Hayashi S, Miyamoto K, Kishimoto T   | Asbestos-related diffuse pleural thickening  | Respiration                             | Epub ahead of print |           | 2014 |
| 酒井文和, 楊川哲代, 小倉高志   | 二次性間質性肺炎の画像診断  | 臨床放射線                                   | 59                  | 913-927   | 2014 |
| 岸本卓巳, 宇佐美郁治, 酒井文和, 宮本顕二, 加藤勝也, 玄馬顕一, 徳山 猛, 林 清二  | 石綿ばく露によるびまん性胸膜肥厚の臨床的検討   | 日本職業・災害医学会誌                             | 62                  | 219-225   | 2014 |
| 酒井文和   | サルコイドーシスの画像所見  | サルコイドーシス診療 Q & A 集<br>びまん性肺疾患調査研究班 2014 |                     | 56-62     | 2014 |
| 酒井文和, 渡辺祐亮, 岡野奈々美  | 第8章：縦隔—縦隔区分法と各区分に好発する縦隔腫瘍の鑑別—  | 画像診断 放射線科医が診断すべき日常臨床で迷う症例               | 34                  | 152-172   | 2014 |
| 酒井文和   | 薬剤性肺障害の診断に必要な検査(2) 画像診断  | 医学のあゆみ 内科領域の薬剤性障害—肝, 肺を中心に              | 248                 | 87-91     | 2014 |
| 酒井文和   | 薬剤性肺障害   | 画像診断 今, 注目の疾患 2014                      | 34                  | 44-46     | 2014 |
| 楊川哲代, 酒井文和, 山本亜也, 高木康伸   | 造血幹細胞移植後の非感染性肺合併症  | 画像診断 今, 注目の疾患 2014                      | 34                  | 42-43     | 2014 |
| 酒井文和   | 悪性中皮腫の診断：画像診断を中心に  | アニムス 悪性中皮腫                              | 80                  | 19-23     | 2014 |
| 酒井文和   | 一般細菌による肺炎との鑑別が困難であった結核性肺炎  | 日本医師会雑誌                                 | 143                 | 1024-1025 | 2014 |

| 発表者氏名  | 論文タイトル名   | 発表誌名                                 | 巻号    | ページ                                    | 出版年  |
|--|---|--------------------------------------|-------|--|------|
| 酒井文和, 臼井裕, 金沢實   | 呼吸器感染症の画像診断   | 日本胸部臨床<br>臨時増刊号<br>呼吸器感染症            | 増刊 73 | 154-<br>165                            | 2014 |
| 酒井文和   | 鎖骨に重なり見落としやすい肺癌   | 日本医師会雑誌<br>画像診断セーフティ<br>マネージメント      | 143   | 1216-<br>1217                          | 2014 |
| 酒井文和   | 呼吸器感染症との違いをどう見る? 薬剤性肺障害の重要画像  | Mebio すべての臨床<br>医師が知っておくべき<br>薬剤性肺障害 | 31    | 57-<br>65                              | 2014 |
| Nakashima R, Imura Y,<br>Hosono Y, Seto M, Murakami A,<br>Watanabe K, Handa T,<br>Mishima M, Hirakata M,<br>Takeuchi T, Fujio K,<br>Yamamoto K, Kohsaka H,<br>Takasaki Y, Enomoto N,<br>Suda T, Chida K, Hisata S,<br>Nukiwa T, Mimori T | The multicenter study of a new assay for<br>simultaneous detection of multiple anti-<br>aminoacyl-tRNA synthetases in myositis<br>and interstitial pneumonia                        | PLoS One                             |       | doi: 10.1371/journal.<br>pone.0085062. | 2014 |
| Miwa S, Shirai M,<br>Toyoshima M, Shirai T,<br>Yasuda K, Yokomura K,<br>Yamada T, Masuda M, Inui N,<br>Chida K, Suda T, Hayakawa H   | Efficacy of clarithromycin and ethambutol<br>for Mycobacterium avium complex<br>pulmonary disease. A preliminary study  | Ann Am Thorac Soc                    | 11    | 23-<br>29                              | 2014 |
| Matsushima S, Inui N,<br>Yasui H, Kono M, Nakamura Y,<br>Toyoshima M, Shirai T, Suda T   | Indacaterol and tiotropium combination<br>therapy in patients with chronic obstructive<br>pulmonary disease   | Pulm Pharmacol Ther                  | 30    | 11-<br>15                              | 2014 |
| Kusagaya H, Fujisawa T,<br>Yamanaka K, Mori K,<br>Hashimoto D, Enomoto N,<br>Inui N, Nakamura Y, Wu R,<br>Maekawa M, Suda T, Chida K   | Toll-like receptor-mediated airway IL-<br>17C enhances epithelial host defense in an<br>autocrine/paracrine manner  | Am J Respir<br>Cell Mol Biol         | 50    | 30-<br>39                              | 2014 |
| Kono M, Nakamura Y,<br>Enomoto N, Hashimoto D,<br>Fujisawa T, Inui N, Maekawa M,<br>Suda T, Colby TV, Chida K  | Usual interstitial pneumonia preceding<br>collagen vascular disease: a retrospective<br>case control study of patients initially<br>diagnosed with idiopathic pulmonary<br>fibrosis | PLoS One                             |       | doi: 10.1371/journal.<br>pone.0094775  | 2014 |
| Kato M, Fujisawa T,<br>Hashimoto D, Kono M,<br>Enomoto N, Nakamura Y,<br>Inui N, Hamada E, Miyazaki O,<br>Kurashita S, Maekawa M,<br>Suda T  | Plasma connective tissue growth factor<br>levels as potential biomarkers of airway<br>obstruction in patients with asthma   | Ann Allergy<br>Asthma<br>Immunol     | 113   | 295-<br>300                            | 2014 |
| Ito Y, Karayama M,<br>Inui N, Kuroishi S, Nakano H,<br>Nakamura Y, Yokomura K,<br>Toyoshima M, Shirai T,<br>Masuda M, Yamada T,<br>Yasuda K, Hayakawa H, Suda T,<br>Chida K  | Aprepitant in patients with advanced non-<br>small-cell lung cancer receiving carboplatin-<br>based chemotherapy  | Lung Cancer                          | 84    | 259-<br>264                            | 2014 |
| Furuhashi K, Enomoto N,<br>Fujisawa T, Hashimoto D,<br>Inui N, Nakamura Y, Suda T  | Hermansky-Pudlak syndrome with<br>nonspecific interstitial pneumonia  | Intern Med                           | 53    | 449-<br>453                            | 2014 |
| Toyoshima M, Suzuki S,<br>Kono M, Nakamura Y, Suda T   | Mildly progressive pulmonary<br>lymphangiectasis diagnosed in a young<br>adult  | Am J Respir Crit Care<br>Med         | 189   | 860-<br>862                            | 2014 |

| 発表者氏名  | 論文タイトル名  | 発表誌名                         | 巻号  | ページ                                    | 出版年  |
|--|--|------------------------------|-----|--|------|
| Harada M, Kotake Y, Ohhata T, Kitagawa K, Niida H, Matsuura S, Funai K, Sugimura H, Suda T, Kitagawa M   | YB-1 promotes transcription of cyclin D1 in human non-small-cell lung cancers  | Genes Cells                  | 19  | 504-516                                | 2014 |
| Fujiyama T, Ito T, Ogawa N, Suda T, Tokura Y, Hashizume H  | Preferential infiltration of interleukin-4-producing CXCR4+T cells in the lesional muscle but not skin of patients with dermatomyositis  | Clin Exp Immunol             | 177 | 110-120                                | 2014 |
| Fujisawa T, Hozumi H, Kono M, Enomoto N, Hashimoto D, Nakamura Y, Inui N, Yokomura K, Koshimizu N, Toyoshima M, Shirai T, Yasuda K, Hayakawa H, Suda T | Prognostic factors for myositis-associated interstitial lung disease   | PLoS One                     |     | doi: 10.1371/journal.pone.0098824      | 2014 |
| Enomoto N, Kusagaya H, Oyama Y, Kono M, Kaida Y, Kuroishi S, Hashimoto D, Fujisawa T, Yokomura K, Inui N, Nakamura Y, Suda T                           | Quantitative analysis of lung elastic fibers in idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis (IPPFE): comparison of clinical, radiological, and pathological findings with those of idiopathic pulmonary fibrosis (IPF) | BMC Pulm Med                 |     | doi: 10.1186/1471-2466-14-91           | 2014 |
| Akamatsu T, Shirai T, Kato M, Yasui H, Hashimoto D, Fujisawa T, Tsuchiya T, Inui N, Suda T, Chida K  | Switching from salmeterol/fluticasone to formoterol/budesonide combinations improves peripheral airway/alveolar inflammation in asthma   | Pulm Pharmacol Ther          | 27  | 52-56                                  | 2014 |
| Akamatsu T, Inui N, Kusagaya H, Nakamura Y, Suda T, Chida K  | Evaluation of antibody levels 3years after 23-valent pneumococcal polysaccharide vaccination in patients with pulmonary diseases receiving steroids and immunosuppressive agents                                       | Clin Biochem                 |     | doi: 10.1016/j.clinbiochem.2014.11.005 | 2014 |
| 須田隆文   | 間質性肺炎と樹状細胞   | 呼吸                           | 33  | 425-434                                | 2014 |
| 西本幸司, 鈴木清一郎, 右藤智啓, 匂坂伸也, 佐藤潤, 妹川史朗, 安田和雅, 須田隆文, 千田金吾   | 気管支肺胞洗浄液のリンパ球刺激試験が陽性を示した柴苓湯による薬剤性肺炎の1例   | 気管支学                         | 36  | 68-72                                  | 2014 |
| 西本幸司, 鈴木清一郎, 右藤智啓, 匂坂伸也, 佐藤潤, 妹川史朗, 安田和雅, 影山葉月, 須田隆文   | 器質化肺炎の所見を呈した Sweet 病に伴う肺病変の1例  | アレルギー                        | 63  | 938-944                                | 2014 |
| 河野雅人, 須田隆文   | 特集 特発性間質性肺炎に関する最新の話 非特異性間質性肺炎 - 診断と治療, UCTD の意義を含めて -  | Respiratory Medical Research | 2   | 104-110                                | 2014 |
| 須田隆文   | 肺サルコイドーシス / 最新の話   | 呼吸器内科                        | 25  | 147-155                                | 2014 |
| 須田隆文   | 膠原病と肺病変 関節リウマチ   | 最新医学 別冊 新しい診断と治療の ABC        |     | 15-23                                  | 2014 |

| 発表者氏名  | 論文タイトル名  | 発表誌名                              | 巻号  | ページ                              | 出版年  |
|--|--|-----------------------------------|-----|----------------------------------|------|
| 須田隆文   | 特集 かかりつけ医のための間質性肺炎診療の手引き 鑑別が難しい類縁疾患 肺病変先行型の膠原病肺と膠原病疑診例   | 日本医師会雑誌                           | 143 | 986-990                          | 2014 |
| 豊嶋幹生, 秋山訓通, 鈴木清一郎, 須田隆文  | メトトレキサートによる薬剤性肺炎の臨床病理学的検討  | アレルギーの臨床                          | 34  | 971-973                          | 2014 |
| 中村祐太郎, 須田隆文  | 特集: 呼吸器病学 TOPICS 2013-2014 5. びまん性肺疾患 Idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis  | 分子呼吸器病                            | 18  | 47-49                            | 2014 |
| 穂積宏尚, 須田隆文   | 特集 肺血管炎の基礎と臨床 顕微鏡多発血管炎の病態, 肺病変の特徴, 治療  | 呼吸器内科                             | 25  | 294-302                          | 2014 |
| Takahashi K, Saito H, Hasegawa Y, Ando M, Yamamoto M, Kojima E, Sugino Y, Kimura T, Nomura F, Ogasawara T, Shindoh J, Yoshida N, Suzuki R  | First-line gefitinib therapy for elderly patients with non-small cell lung cancer harboring EGFR mutation: Central Japan Lung Study Group 0901 | Cancer Chemother Pharmacol        | 74  | 721-727                          | 2014 |
| Sato T, Teramukai S, Kondo H, Watanabe A, Ebina M, Kishi K, Fujii Y, Mitsudomi T, Yoshimura M, Maniwa T, Suzuki K, Kataoka K, Sugiyama Y, Kondo T, Date H; for the Japaneses Association for Chest Surgery   | Impact and predictors of acute exacerbation of interstitial lung diseases after pulmonary resection for lung cancer                            | J Throac Cardiovasc Surg          | 147 | 1604-1611                        | 2014 |
| Sato T, Kondo H, Watanabe A, Nakajima J, Niwa H, Horio H, Okami J, Okumura N, Sugio K, Teramukai S, Kishi K, Ebina M, Sugiyama Y, Kondo T, Date H  | A simple risk scoring system for predicting acute exacerbation of interstitial pneumonia after pulmonary resection in lung cancer patients     | Gen Thorac Cardiovasc Surg        |     | Epub ahead of print              | 2014 |
| Sato T, Watanabe A, Kondo H, Kanzaki M, Okubo K, Yokoi K, Matsumoto K, Marutsuka T, Shinohara H, Teramukai S, Kishi K, Ebina M, Sugiyama Y, Meinoshin O, Date H: Japanese Association for Chest Surgery  | Long-term results and predictors of survival after surgical resection of patients with lung cancer and interstitial lung diseases              | J Throac                          |     | doi: 10.1016/j.jtcvs.2014.08.086 | 2014 |
| Judson MA, Costabel U, Drent M, Wells A, Maier L, Koth L, Shigemitsu H, Culver DA, Gelfand J, Valeyre D, Sweiss N, Crouser E, Morgenthau AS, Lower EE, Azuma A, Ishihara M, Morimoto S, Yamaguchi T, Shijubo N, Grutters JC, Rosenbach M, Li H, Rottoli P, Inoue Y, Prasse A, Baughman RP, The WASOG Sarcoidosis ORGAN ASSESSMENT INSTRUMENT INVESTIGATORS | The WASOG Sarcoidosis Organ Assessment Instrument: An update of a previous clinical tool   | Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis | 31  | 19-27                            | 2014 |

| 発表者氏名  | 論文タイトル名   | 発表誌名                         | 巻号  | ページ                          | 出版年  |
|--|---|------------------------------|-----|------------------------------|------|
| Richeldi L, Cottin V, Flaherty KR, Kolb M, Inoue Y, Raghu G, Taniguchi H, Hansell DM, Nicholson AG, Le Maulf F, Stowasser S, Collard HR  | Design of the INPULSIS™ trials: two phase 3 trials of nintedanib in patients with idiopathic pulmonary fibrosis   | Respir Med                   | 108 | 1023-1030                    | 2014 |
| Richeldi L, du Bois RM, Raghu G, Azuma A, Brown KK, Costabel U, Cottin V, Flaherty KR, Hansell DM, Inoue Y, Kim DS, Kolb M, Nicholson AG, Noble PW, Selman M, Taniguchi H, Brun M, Le Maulf F, Girard M, Stowasser S, Schlenke R, Herceg R, Disse B, Collard HR; INPULSIS Trial Investigators. | Efficacy of Nintedanib in Idiopathic Pulmonary Fibrosis: The INPULSIS™ Trials   | New Engl J Med               | 370 | 2071-2082                    | 2014 |
| Gupta R, Kitaichi M, Inoue Y, Kotloff R, McCormack FX.   | Lymphatic manifestations of lymphangioleiomyomatosis.   | Lymphology                   | 47  | 106-17                       | 2014 |
| Tokura S, Okuma T, Akira M, Arai T, Inoue Y, Kitaichi M  | Utility of expiratory thin-section CT for fibrotic interstitial pneumonia   | Acta Radiologica             | 55  | 1050-1055                    | 2014 |
| Tazawa R, Inoue Y, Arai T, Takada T, Kasahara Y, Hojo M, Ohkouchi S, Tsuchihashi Y, Yokoba M, Eda R, Nakayama H, Ishii H, Nfei T, Morimoto K, Nasuhara Y, Ebina M, Akira M, Ichiwata T, Tatsumi K, Yamaguchi E, Nakata K   | Duration of benefit in patients with autoimmune pulmonary alveolar proteinosis after inhaled GM-CSF therapy   | Chest                        | 145 | 729-737                      | 2014 |
| Ishii H, Seymour JE, Tazawa R, Inoue Y, Uchida N, Nishida A, Kogure Y, Saraya T, Tomii K, Takada T, Itoh Y, Hojo M, Ichiwata T, Goto H, Nakata K   | Secondary pulmonary alveolar proteinosis complicating myelodysplastic syndrome results in worsening of prognosis: a retrospective cohort study in Japan | BMC Pulm Med                 |     | doi: 10.1186/1471-2466-14-37 | 2014 |
| Kanazu M, Arai T, Sugimoto C, Kitaichi M, Akira M, Abe Y, Hozumi Y, Suzuki T, Inoue Y  | An intractable case of hermansky-pudlak syndrome  | Intern Med                   | 73  | 1280-1287                    | 2014 |
| Arai T, Inoue Y, Sugimoto C, Inoue Y, Nakao K, Takeuchi N, Matsumuro A, Hirose M, Nakata K, Hayashi S  | CYFRA 21-1 as a disease severity marker for autoimmune pulmonary alveolar proteinosis   | Respirology                  | 19  | 246-252                      | 2014 |
| Matsuda Y, Tachibana K, Sasaki Y, Tsuyuguchi K, Kitaichi M, Inoue Y  | Tracheobronchial lesions in eosinophilic pneumonia  | Respir Investig              | 52  | 21-27                        | 2014 |
| Uchida K, Nakata K, Carey B, Chalk C, Suzuki T, Sakagami T, Koch DE, Stevens C, Inoue Y, Yamada Y, Trapnell BC   | Standardized serum GM-CSF autoantibody testing for the routine clinical diagnosis of autoimmune pulmonary alveolar proteinosis                          | J Immunol Methods            | 402 | 57-70                        | 2014 |
| 井上義一   | 特発性間質性肺炎の分類を巡る経緯と改定国際集学的分類 (ATS/ERS)  | Respiratory Medical Research | 2   | 6-10                         | 2014 |
| 新井 徹、井上義一  | GM-CSF による自己免疫性肺胞蛋白症の治療——分子病態の解明から治療への軌跡  | 医学のあゆみ                       | 249 | 266                          | 2014 |

| 発表者氏名  | 論文タイトル名  | 発表誌名                   | 巻号  | ページ                              | 出版年  |
|--|--|------------------------|-----|----------------------------------|------|
| 井上義一   | 臨床現場を考慮した特発性間質性肺炎の分類, 新ガイドライン  | 日本医師会雑誌                | 143 | 966-969                          | 2014 |
| 井上義一   | リンパ脈管筋腫症の合併症/肺外病変  | 呼吸器内科                  | 26  | 190-195                          | 2014 |
| 北市正則, 廣岡亜矢, 金沢 豪, 玉舎 学, 井上義一, 庄田武司   | 肺・非腫瘍性疾患(肺疾患の立体的理解に向けて)<br>I: 総論および間質性肺炎 Organizing pneumonia (OP) pattern   | 病理と臨床                  | 32  | 983-994                          | 2014 |
| 井上義一   | 難治性稀少肺疾患の薬剤開発: 特発性肺線維症   | 日本胸部臨床                 | 73  | 1177-1189                        | 2014 |
| 井上義一   | 特発性間質性肺炎改訂国際集学的分類—改訂の骨子  | 日本胸部臨床                 | 73  | 1280-1287                        | 2014 |
| 井上義一   | 特発性間質性肺炎改訂国際集学的分類(ATS/ERS)   | 呼吸器内科                  | 25  | 83-89                            | 2014 |
| 辻 泰佑, 杉本親寿, 山本聡美, 杜倉紗代子, 大町直樹, 新井 徹, 川口知哉, 井上義一, 林 清二  | ステロイドの先行投与とバルーンカテーテル併用により容易に除去が可能となった気管支異物の1例  | 日本呼吸器内視鏡学会雑誌           | 36  | 487-491                          | 2014 |
| Ohshimo S, Ishikawa N, Horimasu Y, Hattori N, Hirohashi N, Tanigawa K, Kohno N, Bonella F, Guzman J, Costabel U  | Baseline KL-6 predicts increased risk for acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis  | Respir Med             | 108 | 1031-1039                        | 2014 |
| Horimasu Y, Hattori N, Ishikawa N, Tanaka S, Bonella F, Ohshimo S, Guzman J, Costabel U, Kohno N   | Differences in serum SP-D levels between German and Japanese subjects are associated with SFTPD gene polymorphisms                               | BMC Med Genet          |     | doi: 10.1186/1471-2350-15-4      | 2014 |
| Goto H, Mitsuhashi A, Nishioka Y.  | Role of surfactant protein A in non-infectious lung diseases.  | J Med Invest           | 61  | 1-6                              | 2014 |
| Nishioka Y.  | New wave of immunotherapy against lung cancer rolls in to clinic.  | Transl Lung Cancer Res | 3   | 1                                | 2014 |
| Toyoda Y, Tabata S, Kishi J, Kuramoto T, Mitsuhashi A, Saijo A, Kawano H, Goto H, Aono Y, Hanibuchi M, Horikawa H, Nakajima T, Furukawa T, Sone S, Akiyama SI, Nishioka Y. | Thymidine phosphorylase regulates the expression of CXCL10 in rheumatoid arthritis fibroblast-like synoviocytes.                                 | Arthritis Rheum        | 66  | 560-568                          | 2014 |
| Nishioka Y.  | Physician scientists in respiratory medicine.  | Respir Investig        | 52  | 279                              | 2014 |
| Hanibuchi M, Kim SJ, Fidler IJ, Nishioka Y.  | The molecular biology of lung cancer brain metastasis: an overview of current comprehensions and future perspectives.                            | J Med Invest           | 61  | 241-53                           | 2014 |
| Sato S, Hanibuchi M, Fukuya A, Yabuki Y, Bando H, Yoshijima T, Goto H, Ogawa H, Nishioka Y.  | Idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis is characterized by an elevated serum level of surfactant protein-D, but not krebs von den lungen-6. | Lung                   | 192 | 711-717                          | 2014 |
| Matsuo T, Dat LT, Komatsu M, Yoshimaru T, Daizumoto K, Sone S, Nishioka Y, Katagiri T.   | Early growth response 4 is involved in cell proliferation of small cell lung cancer through transcriptional activation of its downstream genes.  | PLoS ONE               |     | doi:10.1371/journal.pone.0113606 | 2014 |